

2) 降下ばいじんの保全への取り組み

予測の結果から、工事に伴う降下ばいじんの寄与量は、参考値 $10\text{t}/\text{km}^2/\text{月}$ を下回るが、工事中の配慮事項として、現在、事業区域内で実施している工事中の保全措置を今後も取り組むこととしている。具体的な内容を写真 4.1.2.1-1～写真 4.1.2.1-4 に示す。

- 散水を行う。
- 工事用車両のタイヤ洗浄を行う。
- 作業方法を改善する。
 - ・集落などの民地近傍においては建設機械の複合同時稼働・高負荷運転を極力避ける。
 - ・集落などの民地近傍においては強風時の作業を控える。
- 工事により発生する裸地の緑化を行う。



・粉じん対策として工事用道路への散水を実施

写真 4.1.2.1-1 現在実施している保全措置の内容



・粉じん対策としてロードスイーパーによる工事用道路への清掃を実施(2回/週)

写真 4.1.2.1-2 現在実施している保全措置の内容



・粉じん対策として工事区域及び土砂仮置場からの出口に、スパッツ(タイヤ洗浄装置:湿式)を設置

写真 4.1.2.1-3 現在実施している保全措置の内容



・法面の早期緑化や仮設法面の土木シートによる法面養生の実施

写真 4.1.2.1-4 現在実施している保全措置の内容